

学校教育目標：「よく考え 笑顔で 元気な 大海っ子の育成」

平成29年度
大海小学校だより

3月号

おおみ

平成30年2月23日

校長 山本 洋

いよいよ学校便りも最終号、3月号になりました。卒業式も目の前、子どもたちにとっても学校にとってもまさに締めくくりの時期に来ています。2月は、大雪のための休校が2日間あり、授業の遅れなどご心配をおかけしているところですが、子どもも職員もその分を取り返そうといつもにもまして一生懸命学習に励んでいます。

= オリンピックメダリストのインタビュー =

お隣韓国で平昌オリンピックが開かれ、数々の名勝負が繰りひろげられています。日本人選手の活躍がめざましく、羽生選手・小平選手・パシュートチームの金メダルを始め、たくさんのメダリストが誕生し感動を与えてくれました。これまで最多の金メダル3個を含む合計11個のメダル獲得です。テレビでは連日メダリストへのインタビューが放送されています。どの選手も必ずといっていいほど次のような発言をしています。



出典：読売新聞 守谷遼平撮影

「このメダルは自分の力だけで手に入れることができたものではありません。たくさんの人の応援、支えがあったからこそ…みなさんのおかげで入賞することができました。ありがとうございました。」

メダルを取ったことを自分だけの手柄にすることなく、周りで応援して支えてくれたたくさんの人たちのおかげだと感謝の気持ちを必ず話していました。写真は、スケートで金メダルを決めた直後の小平奈緒選手です。前回、前々回の金メダリストで3連覇を狙って敗れたライバルの韓国選手にさえ「あなたのおかげで頑張ることができた。尊敬しているよ。」と感謝の念を伝えたそうです。

日本人は謙虚さを美德とし、けっして偉ぶることがないとよく言われます。うらを返せば自己肯定感が低く、自分に自信を持ってないだけだとも取ることができますが、けっしてそうではありません。体だけでなく心も一流のアスリートでなければ、頂点を極めることができないのではないのでしょうか。いつも感謝の気持ちを持ち続ける人でなければ、ここまでたどり着けないのです。オリンピックの度に感心してメダリストのインタビューを聞いています。オリンピックだけでなく偉業を達成する人々はみなそうです。

大海小の子どもたちにも、今の自分があるのはたくさんの人の支えのおかげだということを感じることができる、そんな心豊かな立派な大人に成長して行ってほしいと思います。特に6年生には、もうそこまで迫ってきた卒業というめでたい節目に、これまで自分がどれだけたくさんの人に支えられてこの日を迎えることができたかをふり返り、感謝の念を抱き中学校へと羽ばたいて行ってほしいものです。

身近なところに子どもの豊かな心を育む良い材料があります。どうぞ、オリンピックを話題に、家庭でもこんな話を投げかけてみてはいかがでしょうか。学校でも道徳の指導や講話に使って、感謝する気持ちを忘れず毎日を過ごせる子どもを育成していきたいと考えています。